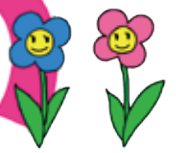




よめばやさしくなるしやきょうのこうほうし


福祉くまの



特集

人材確保

NO.86 令和元年12月26日発行

 熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

新年のマイあいさつ



あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては清々しく新しい年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。昨年、改元により平成から令和へと変わり、巷においても新しい元号に対する期待の高まりを感じました。熊野市社会福祉協議会も新しい時代を迎え、より住民の皆様へ期待され、愛される法人となるべく、高齢者の生活支援、障がい福祉事業の充実、生活に困窮される方への対応、社会的弱者の権利擁護、災害時の対応など、さまざまな課題に対して全力で取り組んでおります。しかしながら、これらの解決には「人材の確保」が重要であります。誰もが笑顔で暮らせるまちづくりの推進に、どうぞ皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

本年も役員一同、心新たに地域福祉の推進に邁進することをお誓い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和二年元旦

社会福祉法人熊野市社会福祉協議会

会長 濱田秀人 役員一同



人材確保

日本の現状



日本の総人口は、2008年をピークに減少傾向ですが、逆に65歳以上の人口は増加しています。また、若年層では男性の比率が高いのに比べ、高齢になるほど女性の比率が高くなっています。同時に、生産年齢人口も戦後、増加を続けてきましたが、1995年の8,726万人をピークにそれ以降は減少を続け、2013年には8,000万人となりました。出生中位推計によると生産年齢人口は、2027年に7,000万人、2040年に6,000万人、2051年に5,000万人を下回り、2060年には4,418万人になり、今の約50%になると予測されています。



背景

先に挙げたような現象が起きている原因は、少子高齢化による人口減少です。高齢化が進み出生率が下がっている現在では、生産年齢人口が減ってしまうのは無理ありません。また、総人

全国的な課題である人材確保。中でも福祉に関するその課題は非常に深刻なものです。益々厳しくなるこの問題に対して私たちはどうすれば良いのか、共に考え下さい。

口の割合でもっとも多い団塊の世代が65歳を超えたことも要因です。生産年齢人口は、日本の総人口の減少よりもはるかに速いペースで減少しているのです。しかしながら総務省の2018年労働力調査によると、生産年齢人口は減少する一方で、平均労働力人口は6,830万人と、6年連続で増加しています。生産年齢人口が減少する中で、労働力人口が増加している要因に、「働き方改革」の推進があげられます。さまざまな人材にとって働きやすい環境が整備され、これまで非労働力人口であった主婦や高齢者の労働への参加が増加したのです。生産年齢人口は減少しているにもかかわらず、働く環境を整えることで潜在していた労働力が引き出され、人口減少分を補うことが出来たといえます。

生産年齢人口とは

日本では新年度初日の4月1日現在での15歳以上65歳未満の年齢に該当する人口のことをいう。

労働力人口とは

15歳以上で、労働する能力と意思をもつ者の数をいう。15歳以上の人口を生産年齢というが、その中には主婦、学生など労働力はあってもその意思を持たない者、あるいは病弱者、高齢者など労働能力を持たない者も存在する。こうした層を非労働力人口といい、労働力人口は生産年齢人口から非労働力人口を差し引いて得られる。

(ウィキペディアより)



まよのあなたのうんせいは?

くましゃんおみくじ

こちらからどうぞ





働き方改革

2019年4月より働き方改革の一部が施行されました。厚生労働省によると働き方改革とは、「働く人々が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で選択できるようにするための改革」のことです。大企業も中、小企業も重要な経営課題のひとつとして捉え、生産性の向上や従業員の満足度向上に向けて一層努力しています。福祉業界においても、数年前から報道等で耳にするいわゆる**処遇の見直し**に力をいれています。熊野市社会福祉協議会においても、法律の改正に伴う就業規則等の改定はもちろんのこと、新たな休暇の創設や諸手当の見直しなど、福利厚生の充実にも力を入れ、当法人としての働き方改革に取り組んでいます。



将来に向けて考える

過疎・高齢化が進む当地域において福祉、介護のニーズは、人口の減少に反して、今以上に高まると考えられます。その現場で働く私たちがこの課題に対してどのように向き合い、何をすべきかを今まさに考えなければなりません。更にいえば、既存のサービスでは充足できなくなるこ

とも十分考えられ、より人材の確保が必要となります。現在でも難しいこの課題が、一層困難になるのです。だからこそその対策を考え、将来に向けて少しずつでも進めていかなければなりません。



求人の実現

ご存じの通り、福祉や介護分野への全国的な就職率は低く、当地域のハローワークの求人情報には連日、福祉や介護職に関する求人が多く、新聞の広告欄を見ても同様のものをよく見かけます。その中では「同業から同業に転職する」ということもよく聞く話で、結果この業界的には新たな人材を創出できていないという現実もあります。その業界の問題として人材を確保するということは、外部からの人材を確保しなければならぬということなのです。



いきいきを見せる

「福祉くまのNo.71(平成29年7月発行)」で**福祉職の魅力**という特集を組みました。これは市内の社会福祉法人の職員に仕事の魅力について語ってもらうというものでした。皆さんそれぞ



れに自分の仕事に誇りをもつて魅力を語ってくださいました。その特集でどれほど効果が出せたのかと考えるとそれほどはなかったのかもしれないですが、このことはとても大切なことだと思えます。つまり、現場で働く人がいきいきとした姿をたくさん見せるということです。誇りをもつていきいきとしている仕事は、人に魅力を感じさせ、振り向かせることができると思います。そしてそうなるために大事なことは、各事業所、法人が今まで以上に働きやすい職場づくりに全力を注ぎ、もつというんな人にその魅力を感じてもらおう、そんな機会をつくることです。また、新卒者の採用などで、新たな人材を育成、創出することにより、市内からの労働力の流出をできる限り防ぐ、またはUターン等の労働力を確保するということにもつながります。こういった部分で頑張るということも地域社会に貢献することであると思います。熊野市社会福祉協議会も職場づくり、広報、人材の創出に更なる力を入れて頑張りますので、応援よろしくお願いします。



いろいろあります
イベント用品 **かします**

こちらからどうぞ



みんな
いっしょに
大きくな～れ!

いな



ボランティアセンター
イメージキャラクター
いな

熊野市ボランティアセンター
登録ボランティア数
団体：33 個人：14名
合計：1,671名
令和元年12月1日現在



ちびっ子ボランティア活躍しました!



11月9日(土)社協ふれあいミニフェスタin五郷に9名のちびっ子ボランティアが参加しました。ゲームコーナーや赤い羽根共同募金、模擬店販売のお手伝いなど分担して活動を行いました。



募金にご協力いただいた皆様ありがとうございました。



社協ふれあいミニフェスタin五郷(11/9開催)、赤い羽根共同募金もちつき大会(12/14開催)にちびっ子ボランティアが参加しました。ゲームコーナーや赤い羽根共同募金の募金活動など自分たちで役割を分担して活動を行いました。

災害時のボランティア活動保険について

確認しよう!

被災地の復旧支援については、ボランティア活動が重要な役割を担っています。台風や豪雨災害、地震、津波などの大規模な災害が発生した場合のみに適用されるボランティア活動保険「大規模災害特例」についてご説明します。

「大規模災害特例」ってなに?

災害復旧対応ボランティア活動に緊急性がある場合、被災地の道県・指定都市社会福祉協議会から全国社会福祉協議会への要請に基づいて「大規模災害特例」を適用し、ボランティアの方々が、速やかに災害復旧活動できるよう利便性の向上を図っています。

「大規模災害特例」が適用された保険と、通常の保険では何が違うの?

- ①補償開始…通常は加入申込手続きの完了した翌日から補償開始となりますが、大規模災害特例が適用された場合は、社会福祉協議会で**加入申込手続きが完了した時点から即時の補償開始**となります。
- ②加入申込み…通常はボランティア自身が居住する最寄りの社会福祉協議会でボランティア活動保険を申込みますが、大規模災害時のボランティアの場合は、被災地の社会福祉協議会でも加入できます。

※ボランティア活動保険は自宅と活動場所の往復途上も補償されます。

※被災地では混乱も想定されますので、**なるべく近く(居住地)の社会福祉協議会で加入**してください。



熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

住所：熊野市井戸町1150番地
電話：0597-89-5000
FAX：0597-89-3068
担当：西里美

10/26 第6回ひなた祭 (飛鳥・五郷デイサービスセンター)



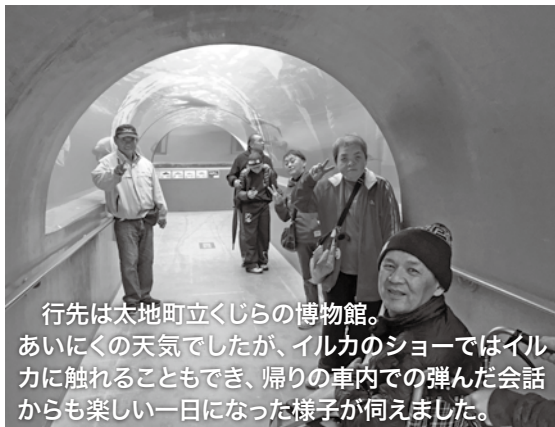
日頃、飛鳥事業所を支えていただいている地域の皆さまに、感謝の気持ちを込めて今年も開催しました。当日は地域の方々にもスタッフとしてお手伝いいただきました。ありがとうございました。

11/9 第13回 社協ふれあいミニフェスタin 五郷 (五郷小学校)



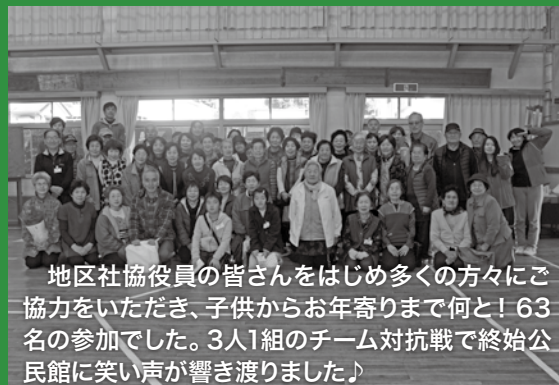
福祉に対する関心と理解が深まればと、毎年地区を決めて開催するふれあいフェスタの“地域版”イベント。子供からお年寄りまで交流できるイベントっていいものですね。

11/22 第3回ふらった〜(太地町)



行先は太地町立くじらの博物館。あいにくの天気でしたが、イルカのショーではイルカに触れることもでき、帰りの車内での弾んだ会話からも楽しい一日になった様子が伺えました。

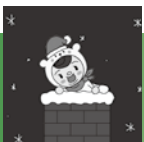
11/30 ふれあいレクリエーション大会 in新鹿(新鹿公民館)



地区社協役員の皆さんをはじめ多くの方々にご協力をいただき、子供からお年寄りまで何と！63名の参加でした。3人1組のチーム対抗戦で終始公民館に笑い声が響き渡りました♪



こんなことやりました



まいつき
かわるよ! オープニングアニメ

こちらからどうぞ👉



おまかせ
ください
無料法律相談所

- ◆開設日 1月21日(火)
2月18日(火)
 - ◆相談員 片山眞洋 弁護士
熊野市保健福祉センター
1階相談室
 - ◆時間 13時から
 - ◆相談内容 民事全般(相続、離婚、雇用、他)
- ※開催日前日の15時までにご予約ください。
※相談は一人15分程度で予約順です。
担当 地域福祉係 西

リサイクル情報

家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲って欲しい!」といった品物を登録し、地域でリサイクルする制度です。お互いに譲り合う当制度を是非ご活用下さい。

当制度に関する情報は、熊野市保健福祉センター玄関にある掲示板または、熊野市社会福祉協議会ホームページ(熊野市社協で検索 リサイクルのページ)をご覧ください。



担当 地域福祉係 榎本

あかいはね
もちつき大会

師走とは思えないポカポカ陽気のもと、12月14日(土) 毎年恒例の赤い羽根共同募金「もちつき大会」を開催しました。メインのもちつき体験では、子どもたちが大きな杵を振りかざし大活躍!行列のできたバザーの他、模擬店やゲームコーナーなど盛り上がりました。イベントでの収益の一部は赤い羽根共同募金に寄附され、来年度の市内の福祉事業に活用されます。ご協力ありがとうございました。また来年!



くましゃんに挑戦!

マッチ棒 クイズ



あけましておめでとう! くましゃんだよ!
お正月「マッチ棒クイズ」!

もんだい 1 2本動かして、四角を3コにする!



もんだい 2 1本動かして 県名に!



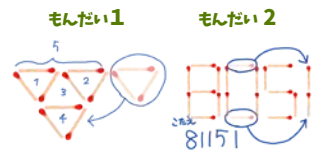
正解者3名にステキなプレゼント!

ハガキは、〒519-4324 熊野市井戸町1150番地 熊野市社会福祉協議会 福祉くまの係へ。
メールは、ホームページの「おてがみ」から。(どちらも1月30日(木)必着で!)



前号の当選者は、上西隆磨さん、大和田栄咲さん、徳田靖兒さんでした。おめでとうございます。

◆前号のこたえ



あけましておめでとうございます。新しい年も、熊野市社協とくましゃんを多くの方に知ってもらい、さらには愛されるための活動を全力で取り組みますので、既に知って(愛して?)いただいている皆様におかれましてはお友達、ご親戚、その他諸々の皆様にご紹介いただくと幸いです。本年もよろしくお願い致します。(あきひと)

あとがき

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 8,844世帯
人口 16,714人
(男7,694人/女9,020人)
65歳以上 7,221人
(男2,957人/女4,264人)
熊野市の高齢化率 43.20%
(令和元年12月1日現在)



今巷で流行りの「デジタルサイネージ」を、廃物利用も兼ねて導入してみました。



デジタルサイネージ!?



福祉くまの NO.86
2019年12月26日発行

編集 社会福祉法人熊野市社会福祉協議会 〒519-4324 熊野市井戸町1150
TEL 0597-89-5000 / FAX 0597-89-3068 /
E-mail kumano@k-shakyo.com / URL http://www.k-shakyo.com/